

全法連

第38回全国青年の集い福井大会

法人会全国青年の集いが、令和6年11月7日(木)・8日(金)にかけてサンドーム福井をメイン会場に開催されました。全国から約2,000名を超える青年部会員が参加し、当会からは、佐藤辰次青年部会長と浅田伶介副部会長が参加しました。



主催者挨拶 平良青連協会長

大会初日は、全国から選抜された単位会による租税教育プレゼンテーションや青年部会や企業が取り組む「健康経営大賞」のコンテストが開催されました。この「健康経営」の取り組みは、従来の租税教育活動に続く重要な活動と位置づけられており、その意義や果たす役割について認識を深める大変良い機会となりました。

大会二日目は、「会員拡大」に向けての部会長サミットや一般会員による「会員交流分科会」が開催されました。

午後からは、記念講演会、大会式典、大懇親会が開催され、これからの青年部会活動の充実に向けて貴重な情報収集と交換の場となりました。

大分県連 女性部会連絡協議会

女性フォーラムin竹田

大分県連女性部会連絡協議会の女性の集いが、9月26日(木)、竹田市総合文化ホール グランツ竹田において、県内から県連、単位会の女性部会役員約100名が参加し開催されました。

式典では主催者及び来賓挨拶のあと、女性部会活動報告が行われ、記念講演会では、「キッチンから未来をつくる」と題して、itonami kitchen店主で合同会社NOOKディレクター友永英子氏による食品ロスに繋がる講演がありました。アトラクションでは花柳美匠治郎氏による日本舞踊が披露され、会場は大変華やいだ雰囲気になりました。次回開催地は、大分法人会となります。



女性フォーラム参加者

大分県連 青年部会連絡協議会

第30回大分県青年の集い別府大会

大分県青年の集いが9月2日(月)に別府市ビーコンプラザにおいて開催されました。

主催者及び来賓挨拶等の式典の後、青年部会活動の軸である「租税教育プレゼンテーション」が行われました。県下を3ブロックに分けブロック代表が発表するもので、今年度は、中津・宇佐高田・日田玖珠法人会を代表して、当会の末竹快健副部会長、田中聡一氏、廣次明美氏が発表を行いました。結果は、僅差で佐伯青年部会へ最優秀を譲りましたが次回に続く素晴らしプレゼンテーションができました。



続いて、青年部会の軸事業である「健康経営勉強会」が行われ、(有)石川建設の石川優生専務取締役による(有)石川建設様の具体的な健康経営の取り組みについてお話があり、代表者によるパネルディスカッションが行われました。

その後の交流会では、ものまねや大喜利等による「余興」を楽しみながら会員相互の親睦を深め大会を閉会しました。

次回開催地は、臼杵津久見法人会となります。

ごあいさつ



日田税務署長
松井 宏樹

明けましておめでとうござい
ます。
昨年七月に宮崎県の高鍋税務署
長から日田税務署長を拝命しまし
た松井でございます。
今回の異動をもって、南九州四
県すべてで勤務経験を有すること
となりましたが、出身が宮崎県で
ございまして、大分県内の勤務が
初めてということもあり、管内の
ことを何も知らないまま赴任して
参りましたが、着任後は日田祇園、
小鹿田焼民陶祭、千年あかり、日
田天領まつり、紅葉祭など歴史の
ある多くのイベントが開催され、
豆田の町や花月川・三隈川を通る
たびに天領日田・水郷日田の魅力
を肌で感じることで、大変うれ
しく思うとともに、本年におき
ましても日田・玖珠・九重の歴史
や文化に触れ、更に見聞を広めた
いと思えます。
令和七年の新春を迎えるに当た
り、公益社団法人日田玖珠法人会
の皆様方に謹んで新年のごあいさ
つを申し上げます。
日田玖珠法人会並びに会員の皆
様には、日ごろから税務行政全般
にわたりまして、深い御理解と多

大な御協力を賜り厚くお礼申し上
げます。
また、昨年、熊本国税局長納税
表彰並びに日田税務署長納税表彰
を受けられた皆様に対しまして、
心からお祝い申し上げます。
さて、日田玖珠法人会におかれ
ましては、「税のオピニオンリー
ダー」として、租税教室への講師
派遣や税に関する絵はがきコン
クールなどの「租税教育活動」の
ほか、「地域社会への貢献活動」
などに創意工夫をされ積極的に取
り組まれており、社会的にも高い
評価を受けておられます。
これもひとえに、田中会長をは
じめとする役員並びに会員の皆様
の御尽力の賜物であり、そのため
まぬ御努力に対しまして深く敬意
を表する次第でございます。
ところで、近年の経済社会のグ
ローバル化・デジタル化をはじめ
とした、税務行政を取り巻く環境
の急速な変化の中で、「納税者の
自発的な納税義務の履行を適正か
つ円滑に実現する」という国税庁
の使命を果たすためには、税務行
政に対する納税者の皆様の理解と
信頼を得ることが何よりも重要で
あると考えております。
そこで、時代の変化に即した税
務行政を実現するため、国税庁に
おきましては、デジタル化を活用
した国税に関する手続、業務の在
り方の抜本的な見直し及び事業者
のデジタル化促進に取り組み、「あ
らゆる税務手続が税務署に行かず
にできる社会」の実現を目指して
おります。
法人会の皆様には、これまで

も、ALL e-Tax、キャッ
シュレス納付の利用拡大、年末調
整手続の電子化、電子納税証明書
の周知・広報などに御協力いただ
いておりますが、さらなるデジタ
ル化促進に取り組むためには、こ
れまで以上に法人会の皆様との連
携・協力が必要と考えております
ので、今後とも、なお一層のお力
添えを賜りますよう、お願い申し
上げます。
さて、間もなく令和6年分の確
定申告の時期を迎えます。
国税庁では、マイナンバーカー
ドを利用した、スマホ等による自
宅等からのe-Taxでの申告を
推進しております。
マイナンバーカードを御利用い
ただくと、マイナポータル連携
で「医療費」や「ふるさと納税」
のほか、「給与所得の源泉徴収票」
も自動入力の対象となります。
この「給与所得の源泉徴収票」
の自動入力のためには、事業主の
皆様は「給与所得の源泉徴収票」
をe-Taxで税務署に提出いた
だくことが必要となります。
法人会の皆様におかれまして
は、従業員の皆様の確定申告に係
る利便性向上のため、「給与所得
の源泉徴収票」のe-Tax提出
について、是非、御検討いただき
ますようお願い申し上げます。
最後になりましたが、この新し
い年が日田玖珠法人会の益々の御
発展と、会員の皆様方の御繁栄の
年となりますよう心から祈念いた
しまして、新年のごあいさつとさ
せていただきます。

職名	前任者（異動先）			後任者（前任地）		
	氏名	部署	役職	氏名	部署	役職
税務署長	宮原 雅史	熊本国税局 会計課	課長	松井 宏樹	高鍋税務署	署長
総務課長	岡本 国秀	延岡税務署	課長	益永 寿美	熊本国税局 国税広報広聴室	室長補佐
管理運営・徴収部門 統括国税徴収官	藤野 智	(留任)		藤野 智	(留任)	
個人課税第1部門 統括国税調査官	清水多美子	(留任)		清水多美子	(留任)	
個人課税第2部門 統括国税調査官	酒井 忍	甘木税務署 個人課税部門	統括国税調査官	児玉 豪史	大分税務署 個人課税第1部門	総括上席(兼) 連絡調整官
法人課税部門 統括国税調査官	瀬口 淳子	(留任)		瀬口 淳子	(留任)	
総務係長	園田 佳孝	鹿屋税務署 個人課税第2部門	国税調査官	尾野 泰洋	熊本国税局 国税訟務官	実査官

日田税務署

人事異動のお知らせ

(令和6年7月10日付)

税の作文の入賞作品 中学生の「税についての作文」

賞名	氏名	学校名	学年	題名
南九州地区納税貯蓄組合連合会 優秀賞	たきいし かずま 瀧石 一馬	日田市立東部中学校	3年	少子高齢化から生まれた 軽減税率と増税
日田税務署長賞	はやし こまつ 林 瑚夏	日田市立東部中学校	3年	税金と学びと私たち
	くわの ななせ 栗野 七聖	日田市立南部中学校	3年	税の歴史と大切さ
日田玖珠納税貯蓄組合連合会 会長賞	みうら りん 三浦 凛	日田市立東部中学校	3年	私たちの身近な税について
	さとう みう 佐藤 美羽	九重町立このえ緑陽中学校	3年	災害と税
日田・玖珠地区 租税教育推進協議会長賞	おおいし あいと 大西 藍人	日田市立東有田中学校	3年	税との暮らし
	ふじわら そうた 藤原 颯汰	日田市立東溪中学校	3年	国民のための税金
日田玖珠地区 税務連絡協議会長賞	あきづき かのん 秋月 花音	日田市立東有田中学校	3年	社会をつなぐ税
	はまべ そうた 濱邊 颯太	玖珠町立くす星翔中学校	3年	ふるさと納税について
	もり なな 森 優菜	玖珠町立くす星翔中学校	3年	税金の大切さ

作文の応募校数及び応募編数

第58回 中学生の「税についての作文」

本年度も日田玖珠管内では、中学校7校、238編とたくさんのお応募がありました。

南九州地区
納税貯蓄組合連合会
優秀賞

『少子高齢化から
生まれた
軽減税率と増税』

日田市立東部中学校
三年 瀧石 一馬

「行ってきます。」
そう言って僕は買
い物へ出かけた。
今日は和菓子屋と
本屋に行った。和
菓子屋では丸芳露
を、本屋では辞書
を買った。どちら
ともお釣りと共に
レシートを貰った。
そのレシートには
もちろん金額と
買った商品名など
が記載されている。
ふと全体を見てみ
ると、和菓子屋で
貰った方のレシー

トには8%軽減対象、本屋で貰った方のレシートには10%標準対象と書かれており、その文字が目には止まり、気になって調べてみることにした。すると、その制度は軽減税率という制度であるということを知った。その軽減税率の適用対象となっているのは飲料品と新聞。その飲食料品ではテイクアウト・宅配・出前などがある。簡単になると同じお店で同じものを買ったとき、それをお店の中で食べるのか、お店の外で食べるかによって価格が変わることを指す。

たとえばハンバーガー屋に行ったとき、僕なら家に帰って食べる。その場合はテイクアウトなので軽減税率が適用される。でもそれはあくまでも自分の場合のみ。みんながみんな店内で食べるとは限らない。
少しの差だから店内で食べようという人もいれば少しでも安くなるのなら外で食べようという人も出て来るだろう。

平成元年にはじめて消費税が導入され、およそ三十五年間経った。最初の3%から5%、8%そして今と同じ10%となった。

そもそもなぜ軽減税率が導入されたのだろうか。調べていくうちに、消費税増税が徐々に増えていき、そのことによる消費者の負担を軽減するためだということ

が分かった。消費税が10%となったと同時に軽減税率は8%となり、そのことは消費者にとってはたとえ2%の差だけれど、とてもありがたいだろうと感じた。

もし自分が大人になったとき、また新たに税率が少子高齢化などの影響から増えるだろう。そのときにも軽減税率があると助かるだろうなと感じた。この政策は続けてもらいたい。

日本は二千年ごろから人口が減り続け、二千七年には超高齢社会になったといわれている。そして長年にわたって財政赤字に陥り、赤字をうめるために国債を発行してきた。その財政状態は健全とは言えない。

最近では少子高齢化が進み、自衛隊国民がどんなときでも安定した生活を送れるように使われる社会保障費が増加している。そのことは歳出がふくれ上がった原因の一つとなっている。その社会保障費に充てるために今増税が実施されており、テレビやネットなどで増税に関して色々な意見が飛び交っている。

今回税の作文を書くことにより、増税に関する興味が深まり、賛成意見となった。

最後に、僕は税に関してたくさん知識を得ることができたので、このことを今後の生活に活かせるようにしたいと思う。

賞名	氏名	学校名	学年	題名
日田税務署長賞	新川 史佳	大分県立日田高等学校	2年	為政者と有権者と課税政策のギャップ
	田邊 璃奈	学校法人岩尾昭和学園 昭和学園高等学校	1年	明日を創る税金
日田・玖珠地区 租税教育推進 協議会長賞	伊東 終弥	大分県立日田高等学校	2年	「納得感」のある税金へ
	藤本なのは	学校法人岩尾昭和学園 昭和学園高等学校	2年	税について
日田玖珠地区 税務連絡 協議会長賞	浅田 早紀	大分県立玖珠美山高校	2年	救急車が無料というありがたさ
	佐藤みさき	大分県立玖珠美山高校	2年	無知は罪
	岡田 聡乃	学校法人日田佐藤学園 藤蔭高等学校	3年	税の使われ方
日田間税会長賞	鷺頭 葉月	学校法人日田佐藤学園 藤蔭高等学校	1年	税金の恩恵
	小田向日葵	大分県立日田三隈高校	1年	税金と私たちの生活

税の作文の入賞作品
「税に関する高校生の作文」

第63回「税に関する高校生の作文」
国税庁では、毎年、全国の高等学校のご協力を得て、「税に関する高校生の作文」の募集を行っています。
本年度も、日田玖珠管内では、高等学校5校、386編とたくさんの方の応募がありました。

作文の応募校数及び応募編数

源泉所得税の納付は e-Taxが便利！

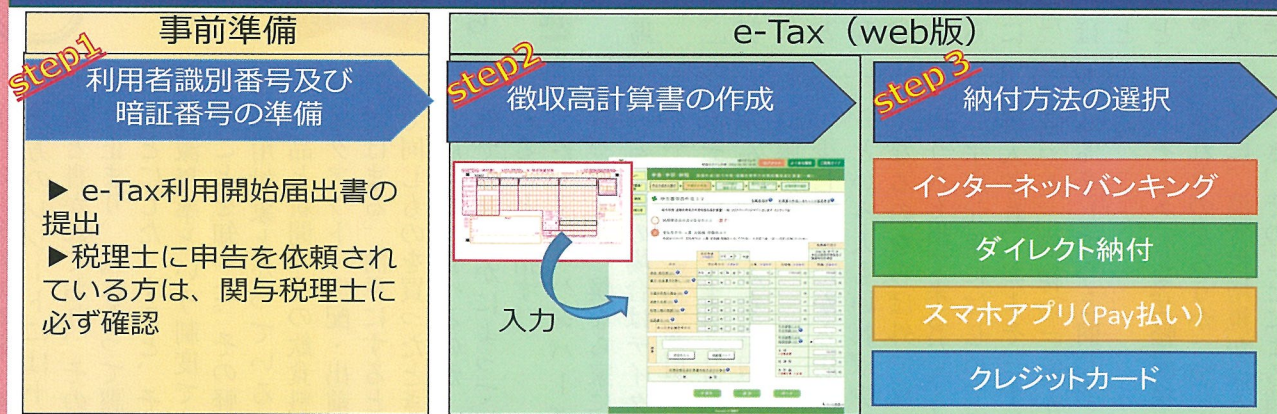


全て自宅や会社で
納付が完了！



お出かけ
不要

納付までの流れ



納付方法の選択

インターネットバンキングによる納付

- ▶ 必要なもの
インターネットバンキング又はモバイルバンキングの契約



動画はコチラ (YouTube) (操作要領)

ダイレクト納付 (指定預貯金口座からの引落とし)

- ▶ 必要なもの
税務署へダイレクト納付利用届出書の提出 (裏面)



動画はコチラ (YouTube) (操作要領)